

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (がたい)	[19] 「あきたの街づくり」マーケティング (秋田は女性にとって住みやすいまちですか?)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 経営システム工学科 教授 嶋崎 真仁 (計2名)
授業概要	秋田を「女性の住みやすい街に」。そのために何が必要か？マーケティングにおける調査手法「商品企画七つ道具」を活用して、アンケートを設計、実施、解析を通じて、皆さんと一緒に明らかにしていきます。		
授業方針	秋田に愛着があり、問題意識を持っている皆さんに参加してもらいたいです。若干の数学的知識とパソコンで「MS-Excel」「Google Spreadsheet」などの表計算ソフトを使います。もし手持ちのパソコンがあれば持ち込んでください。		
会場・教室	中通サテライト		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス (平日9:00~17:00) 電話: 0184-27-2071 E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 10名】先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「まちづくりの意義を考える・商品企画七つ道具を学習しよう」 経営システム工学科 教授 嶋崎 真仁、建築環境システム学科 助教 竹内 仁哉 ＜7月16日(日) 13:20~14:50＞ この授業で使用するマーケティング手法「商品企画七つ道具」の概要を紹介します。この手法ではグループインタビューを通じてニーズの探索とアイデアの絞り込みを行い、アンケートを分析して重要視するニーズを選び取ります。			
第2講: 「グループインタビューをやってみよう」 経営システム工学科 教授 嶋崎 真仁、建築環境システム学科 助教 竹内 仁哉 ＜7月16日(日) 15:00~16:30＞ この街に住み続けるにはどのような要素が必要か？街づくりに必要となる要素をたくさん割り出し、アンケートを作ってみましょう。アンケートはGoogleFormsを用いてオンラインで採れるものにし、授業終了後にLINEやQRコードを使って調査依頼を行います。			
第3講: 「アンケートを解析してみよう」 教授 嶋崎 真仁 ＜7月23日(日) 13:20~14:50＞ アンケートの解析を実際にやってみて、アンケートを設計したときの仮説が正しかったかを検証します。アンケートの解析には「MS-Excel」か「Google Spreadsheet」を使います。			
第4講: 「提言のプレゼンテーション」 教授 嶋崎 真仁 ほか ＜7月23日(日) 15:00~16:30＞ アンケート結果を使い、県庁や市役所の担当者に提言するプレゼンテーションを作成・実施して、関係者からのアドバイスを受けます。			
その他			
テキスト			
参考文献	神田範明「神田教授の商品企画ゼミナール—Neo」P7 ヒット商品を生むシステム、日科技連、2013		
関連科目			